

SSKU

2015年度

お元気ですか?  
**イリアンソス**  
です。



PAGE

## 03 特集 わたしたちのねがいを実現するために

PAGE

### 02 理事長の散歩道

PAGE

### 06 コラム／施設紹介

PAGE

### 07 がんばれ！イリアンソス

理事長の散歩道



理事長の散歩道 ⑩

社会福祉法人イリアンソス  
理事長 磯部光孝

先日、映画「ぼくらの家族」が東久留米生涯学習センターのまろにえホールで上映されました。俳優の妻夫木が主演で、お母さんの突然の病気をきっかけに家族が再び結束していく姿を実話をもとに描いた映画でした。母親や父親、長男、弟の気持ちの変化が丁寧に描かれていて大変面白かったです。

ちょうどバブルの崩壊した後の家族を描いています。母親が脳腫瘍になったことで、家族がいろいろと奔走していくのですが、生活苦や入院費などお金のやりくりが大変なことが描かれています。

日本もいつの間にか、生活苦があたりまえになってしまいました。貧困、格差社会がどんどん進行して、映画に取り上げられる国になっていきます。

富める企業と貧しい国民

先日の新幹線で焼身自殺した71歳の男性については、事件を肯定するものではありませんが、テロ扱いされ格差社会の犠牲者の視点はほとんどテレビ関係の報道では取り上げられなかったように思われます。しかし、実際には多くの国民にとって、とても短時間な年金の受給額の低さと高額な保険料、高額な

税金に対する不満ということがはっきりしています。年金だけの生活になったばかりで、国民健康保険や住民税で6万円も払わなければならぬこと。年金受給額が35年間も年金を納めたにもかかわらず、12万円の支給しかなかった。アパート代、光熱水費、税金など支払ったら本当に手元に残らない状況だったのでしょうか。そして、この年金収入は、生活保護費よりも低いのです。

年金収入を上げれば解決

だからといって、生活保護費を引き下げる動きには決してならないと常識的には思いません。しかし、わが日本は、生活保護費の基準をどんどん引き下げているのです。その理由の一つが、もっと少ない収入で暮らしている人がいるから。本当に「富める者はますます富み、貧しい者はますます貧しくなる」社会になっているのです。こうした貧困に苦しむ高齢者を「下流老人」というそうです。そして、「焼身自殺した方は、典型的な下流老人で、現役時代の収入が多くなく、貯蓄も底をついた。生活の助けを求めたことのできる家族や友人関係もない、こういった人たちが、いざ年金だけで生活する年齢になると、突然貧困層に落ちる。これは稀なケースではなく、高齢者の9割が下流老人になる可能性がある」とある記事に載っていました。

こんな日本になっていいのでしょうか？ある学者は、年金収入の額を生活保護基準よりも上げれば、多くの人の生活が安定するし、生活保護を受けずに暮らしていける。そして、

そのお金も大企業から適正な税金を払ってもらえば賄えると言っています。

国会議事堂前

「1月15日、ちょうど衆議院で「安全保障関連法案」が可決されました。わたしも、その日会議が終わり次第、国会議事堂前に駆けつけました。6時半から法案反対集会が始まりました。その時間に合わせて続々と人々が集まってきました。思い思いのプラカードを持っていく人たちが、道端で平和の歌を歌っている女性たち、自転車や車で反対の看板を掲げて国会議事堂を回っている人たちが、一人ひとりがさまざまな工夫をして主張していました。シュプレヒコールが流れていくうちに、みるみるうちに高校生や若い女性で溢れてきました。「戦争反対」「9条守れ」「自民党なんかおかしい」若い人たちが声を合わせている姿を初めて見ました。この若い人たちの声を聞くと、何かが変わるんじゃないかと予感させる力を感じました。

障害分野も孤立せず、生活保護とも様々なつながりがあることを知っていく必要があります。そして、この国の本当の姿を伝えていく必要があると感じています。





特集

# わたしたちのねがいを実現するために

## ～署名運動・国会請願のようす～

今回の特集は 「運動」 です。

日々の仕事やレクリエーションだけではなく、地域や国に我々の現状や思い、願いを訴えていくことも大切な活動の一つです。

「Nothing About Us Without Us」(私たちのことを、私たち抜きに決めないで)

障害者権利条約を作る際に世界中で叫ばれた言葉です。

実現の為に出来ることから1歩ずつ取り組んでいくことが大きな力となっていくのだと信じて…。

今回は、そんな取り組みを紹介します。



東久留米駅での署名運動

地域に広げる  
―東久留米駅での署名運動  
10月「がんばるDAY」と称して、月に1回程度、駅前で国会請願署名をおこなっています。利用者・職員一丸となって、請願項目を説明していきます。知らない人に知ってもらおう大事な場所です。  
「頑張ってください」と温かい言葉をかけてもらうことも多くなりました。  
署名運動の流れは10月に始まり、12月には新宿駅などの大きな駅で都内の作業所の利用者・職員が一同に集まり署名活動や街宣車で訴えを発信していきます。



利用者・スタッフ、  
みんなで順番に参加します

5月には「国会請願行動」と言って、集まった署名用紙を議員会館に行って、議員の方に直接手渡します。  
今後東久留米市から発信し続けていくことが大きな力となっていくのだと思います。  
のぞみの家 吉田 遊佑



講師の北條さんと  
学習会の様子

学習会を通して運動の大切さを学ぶ  
―きょうされん多摩北部ブロック学習会  
4月22日(水曜日)このみにてきょうされん東京支部事務局長の北條正志さんを講師に招き「第38次国会請願署名・募金活動を活発に行う為には」「きょうされん活動の大切さを学ぶ」テーマにお話をして頂きました。  
最新の情勢では障害者総合支援法の見直しや報酬改定など2014年1月によく日本でも批准された「障害者権利条約」に逆行するようなものになってきている、とお話を頂きました。  
このみ 田中淳一



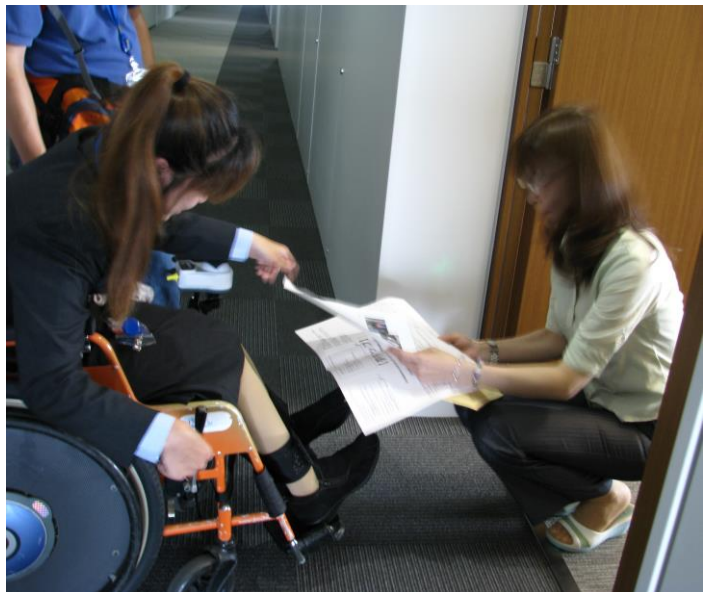


### 国会請願署名でおもいを届ける

―第38次国会請願署名

かなえからは代表として「名利用者が参加しました。国会請願前の事前の打ち合わせから参加し、総勢で400人近くの参加者が集まっています。全国各地から来ており、「みんな頑張ろう」といった雰囲気でした。

グループに分かれて国会議員の部屋をまわり、みんなで集めた署名の紹介議員になつてもらえるようにお願いをして回りました。署名を手渡す際には、なまを代表して自分の仕事や好きなことなど、思いを発表しました。議員本人に会う事は難しかったですが、秘書の方が話しを聞いてくれたり、また署名を受け取ってくれるところも何名かいました。なかには、毎年きょうされんが署名活動をしている事を「存じ上げております」と言ってくれるところもあり、38年間と長く続けている事にもしっかりと意味があることだと感じました。



国会請願行動に参加して改めて、国会や議員にまで願いや思いを伝えるためには、たくさんの方の署名を持っていく請願行動もとても大事なことです。日々の署名を集める運動もとても大事な物であると感じました。どんな小さなものでも、一つひとつの運動がみんなの思い、願いを届けることにつながっているんだと実感しました。

# コラム 「かなえ花見」

活動センターかなえが建て替えの為、仮住まいでの活動も早一年が経ちます。  
4月10日、午後からスタッフと利用者のみなさんでお花見会を行いました。



1人1人の自己紹介。  
歌ったりおどったり、にぎやかです。



今回のお花見の目的は、「手づくりお菓子を調理し、なのはなグループ、だるま班と一緒に花見をしながら楽しく過ごす」ということでしたが、残念ながらあいにくの空模様で室内での花見となりました。

しかし、だるま班のみなさんが午前中に絵を描いて貼ったり、桜の木を作って飾ったりと、室内をきれいに彩ってくれました。  
なのはなグループのみなさんは、飲み物の買い出しとビスケットサンド作りをしました。  
本番では円になって椅子に座り、4月から一緒に働いている新しい職員の紹介をするとともに、利用者の方も一人一人自己紹介をしていきました。  
照れている方や声を出してアピールする人など、みなさんで楽しみました。その後は各班に分かれて、ジュースとビスケットサンドをおいしく頂き、楽しい花見になりました。

活動センターかなえ 鹿島 裕太

## のぞみの家 からごんいち

大切な活動の1つ自治会を紹介します。自治会ではレクの行先、これからの活動について、旅行の計画など様々な内容について話し合いをします。とくにチャレンジ班の自治会ではホワイトボードの前に利用者さんが席に着き司会者を決めて議題に沿って話を進めます。レクリエーションの場所決めでは、利用者さん1人1人が「〇〇がしたい」と意見を出し合います。時には意見が分かれることもあります。そこからは自治会のおもしろいところですよ。

利用者さん同士で説得を試みたり、司会の方が多数決を取ったりとその時々で決めていきます。レクの行先はみんなで話し合って決めた場所なので楽しく参加しています。意見を交わし合い決定をしていく過程は自治会には欠かせない活動です。

のぞみの家 勝田誠矢



連載 がんばれ イリアンソス! シリーズ ⑬

グッドライフ 生活寮 世話人さん

長岡 勝幸さん

今回は、のぞみの家の廣岡さんが暮らしている「グッドライフ生活寮」の世話人さんでいらつしやいます長岡さんにお話をお聞きしました。

廣岡さんは、のぞみの家に通われて12年が経過します。元気なたんぼ班で牛乳パック回収や和紙作りの仕事をおこなっています。そんな廣岡さんが暮らす生活寮の様子や

のぞみの家との関係などをお聞きしました。  
▽はじめに

グッドライフ生活寮の母体である、NPO法人自立生活センターグッドライフは『全ての人が地域で当たり前の生活を!』という目的で1994年に障害を持つ当事者を中心に活動を始めました。様々な障害を持つ人達が地域で暮らし自ら生活を築き上げていく事を多方面から支援・活動していく中で、従来の「施設入所へ」という趨勢に対して「地域生活へ」という新しい流れを生み出す事を目的に2002年、生活寮を開設いたしました。

▽暮らしの場として大切にしていること  
グッドライフ生活寮は、寮ではありませんが、「個別の生活」という視点に立って、それぞれが個々のスタイルで「私の生活」を確立し

てゆく場である、と考えています。

▽暮らしのようす

完全な一人暮らしではないので、入浴のタイミングが重なる等そのような時は譲歩し合ってもらったりはしますが、基本的に個人のペース・リズムを大切にしています。

▽余暇の過ごし方とイベント

普段は寮に戻られたら、みなさんそれぞれにご自分のやり方でリラックスされています。また、日によって違います。「疲れた」とゴロンとされる日もあれば、散歩・買い物と外に気分転換に、なんて日もあります。週末は、各所へ車でお出かけやバーベキュー、他の寮から人を招いて食事を開いたりしています。イベントは行事として寮独自のものは設けておりませんが、母体のグッドライフや関連事業所の恒例イベントで、花見・キャンプ・夏祭り・温泉旅行・秋祭り・ライブ・お餅つきなど色々あります。

▽のぞみ(日中の場)との連携

日常の健康・精神状態や各診療科の受診結果など常に情報を共有できるように協力しています。毎日の送迎時に状態を伝え、場合によってはのぞみの活動時間外に電話で連絡を

とります。また、健康・精神両面で非常に困難な場面にあたっては、支援体制について共同会議を開いたり、通院に同行して主治医と意見交換したりと、共に廣岡さんを支援していこうという思いを共有しています。心より感謝して、また心強いです。

▽おわりに

のぞみの家のみなさんには、廣岡さんが通いだした時から、彼のペースとリズムを、そして何より彼の気持ちや思いを大切にきていただきたと感じています。それは、廣岡さんだけでなく、全てのメンバーに対する、のぞみの家のスタッフのみなさんの態度からも見てとれます。我々グッドライフ生活寮のスタッフも利用者のみなさんの気持ちを大切にしながら、のぞみの家のスタッフのみなさんとの連携と信頼関係をより一層深めていけるようにと願っています。今後とも、どうぞよろしく願います。

貴重なお話がたくさん聞けました。仕事の場と暮らしの場の安定があつてこそ、本人にとつても安心した生活が送れるのだと思います。今後も地域の他施設とも連携して生活を支えていけるようにしていきたいです。

## 法人行事

くるてん

### 『リサイクル久留店』

のぞみの家 チャレンジ班が中心となっておこなうバザーです。

◎日程：9月3日(木)

◎場所：滝山団地センター前広場

※雨天中止 気温によって中止・開催時間短縮の場合もあります。

### ご寄付をいただきました(7月末まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございます。また、いたただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。

藤田 祐子様  
渡辺 行教様

ありがとうございます。

### 編集後記

他にもアシカ&イルカショーも見てきました。今までも何度かおひさま班旅行で見えてきましたが、改めて「賢いなあ」と感じました。鯨・海豚・猿、日本の文化と外国との間で話題になることが多い。今、色んな関係のあり方があってよいのかなと水しぶきを浴びながら思いました。

のぞみの家 吉田遊佑

表紙の写真／のぞみの家、チャレンジ班の  
レクで西武バスに行ってきました。

#### 《 発行 》

特定非営利法人 障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21  
Tel 03-3416-1698 Fax 03-3416-3129

#### 《 企画、編集 》

社会福祉法人 イリアンソス  
〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18  
Tel 042-473-9027 Fax 042-473-9036

#### 《 編集委員会 》

磯部光孝・多田由美・廣智章  
矢島正樹・吉田遊佑・勝田誠矢  
ホームページからはカラーで  
ご覧いただけます

イリアンソス

検索

定価  
一〇〇

#### 社会福祉法人イリアンソス

- のぞみの家  
東久留米市下里 2-7-18  
042-473-9027  
042-473-9036 (F)  
nozomi@iriansos.or.jp
- 活動センターかなえ  
東久留米市八幡町 1-1-12  
042-420-6316  
042-420-6341 (F)  
kanae@iriansos.or.jp
- なかまの家  
東久留米市中央町 2-1-47  
042-472-7130  
042-444-3722 (F)  
nakama@iriansos.or.jp
- 生活寮「うみ」「そら」  
東久留米市下里 4-2-7  
042-476-3400 (F兼)  
sora@iriansos.or.jp
- 生活寮「にじ」「かぜ」  
東久留米市下里 5-10-10  
042-420-9943  
kaze@iriansos.or.jp
- このみ  
東久留米市幸町 3-8-23  
042-473-9667